

中川彰平 なかがは ちやうへい 詩人。明治十年山梨縣東八代郡相模村生れ（二八七七一）。十五歳の折キリス下教へ入り、明治二十八年受洗。二十九年木下尚江の影響を受け、社會主義思想へ傾く。この間徳富蘆花、石川三四郎等と交遊と宗教界を離れず。爾後農事の傍ら詩作に専念。著書に『蟹の政』（昭和二年十月五日文化學會出版部）、詩集『蟹の綿』（昭和十六年二月一日山梨・中部文學社）、『埋葬の詩』（昭和二十一年一月十五日文化人社）等。

